

令和8年度 上尾市水道事業実動班 活動報告

上尾市水道事業では、事故や災害への対応に重点を置いた「実動班」を令和2年3月に編成し、さまざまな状況に即した訓練を実施しています。

「実動班」の講習や訓練を継続することで、事故や災害が発生した際に迅速な対応ができる職員を育成しています。

今回は、令和8年6・7月に行った訓練内容について報告します。

新任実動班員を対象に車両可搬式給水タンク訓練を実施

令和8年6月4日（木）、車両可搬式給水タンク使用訓練を実施しました。

講習は、非常時に飲料水を迅速に供給するため、給水タンクをトラックに積み込み、ロープを使って固定する作業を実践形式で学びました。

給水車と異なり、ポンプは付いていませんが、応急の給水拠点として使用可能です。

受講生は講師から説明を受けながら作業を進めていきました。新任実動班員にとって、また新たな技術習得の機会となりました。



タンクをトラックの荷台に積み込む



手順及び注意点の説明



ロープをタンクとトラックに架ける



ロープをトラックの荷台に結ぶ

HIVP管接合訓練を実施

令和8年6月11日（木）に、HIVP管接合訓練を実施しました。給水管として一般的に使用されているHIVP管について、事故や災害等で破損が発生した際、給水装置工事事業者への的確な指示を行うため、また緊急時には、自ら応急給水を行うための接合訓練です。

具体的には、HIVP管を所定の長さに切断、接着剤を塗布し、ソケットと呼ばれる部品と接着する作業を行いました。今回の受講者は、初めてHIVP管接合を行う受講者もあり、まっすぐに管を切断することや、接着剤を均一に塗布することに苦戦していました。



手順及び注意点の説明



HIVP管を切断



HIVP管とソケットに接着剤を塗布



HIVP管とソケットを接合

管洗浄（実技）訓練の実施

令和8年7月13日(月)・27日(月)に、実動班員を対象とした管洗浄（実技）訓練を実施しました。新任実動班員は、仕切弁の基本的な操作方法を学びながら、市内で漏水が発生したという想定の下、漏水修繕に必要な断水作業および、開放時の水道管洗浄のための仕切弁操作を行いました。



仕切弁の開閉操作

仕切弁からの音を確認して
水量を調整

洗浄中の水質を目視にて確認

管洗浄方法習得のための講習会

大きな漏水などが起こり水道管内の流れが急に変化すると、濁水が発生することがあります。この濁水を取り除くために「管洗浄」を実施します。少しでも早く市民生活が再開できるよう、迅速かつ効果的な管洗浄方法の習得を目指しています。

訓練は、職員の習熟度に応じて、3つの階級に分けて実施しています。

基礎講座



グループディスカッション状況

7月2日(木)、新任実動班員を対象に、管洗浄(座学)訓練を実施しました。

今回の訓練では、市内某所で漏水が発生したという想定のもと、断水の手順、漏水修繕後の復旧手順について検討し、各班で発表しました。各班には経験者の実動班員が配置されており、新任実動班員からの質問に答え、発表内容をまとめるサポートをしました。

管洗浄3級に認定された者を対象とした訓練

6月18日(木)、7月9日(木)・30日(木)の3日間、前年度までに管洗浄3級の試験に合格した者を対象に訓練を実施しました。

本訓練では、実動班員が講師となり、問題を作成。参加者は問題に対し、事実を正確に把握、事実を基に状況を想定、意識しながら、各グループで解決策を検討し発表しました。発表後には、講師から解説が行われました。



問題説明



各班発表

指揮能力養成課程を対象とした訓練



事実と想定をまとめ条件整理

6月25日(木)と7月16日(木)の2日間、指揮能力養成課程を対象に、管洗浄に関する座学研修を実施しました。

この講習は、災害時に総合的な指揮を執れる人材の育成を目的としています。

受講者はより実践的な状況に対し、現場での対応や復旧措置等を検討し、迅速な判断力と対応力を養いました。